

学校外活動費は、平均額だけでは利用の広さが分からない

対象：対象：2023年度／2026年1月16日訂正版

公開日：2026-09-01

結論

学校外活動の利用状況を推定するとき、全体平均だけでは足りません。支出率、支出者平均、支出ゼロの意味を分けると、広く薄い支出と、狭く大きい支出を区別できます。ただし、参加率や現在の価格を判断するには、利用の有無、無料利用、回数、期間、費用内訳の追加調査が必要です。

39.0%	72.3%	230,385円
公立小・学習塾費の支出率	公立小・スポーツ等の支出率	公立中・学習塾費の全体平均

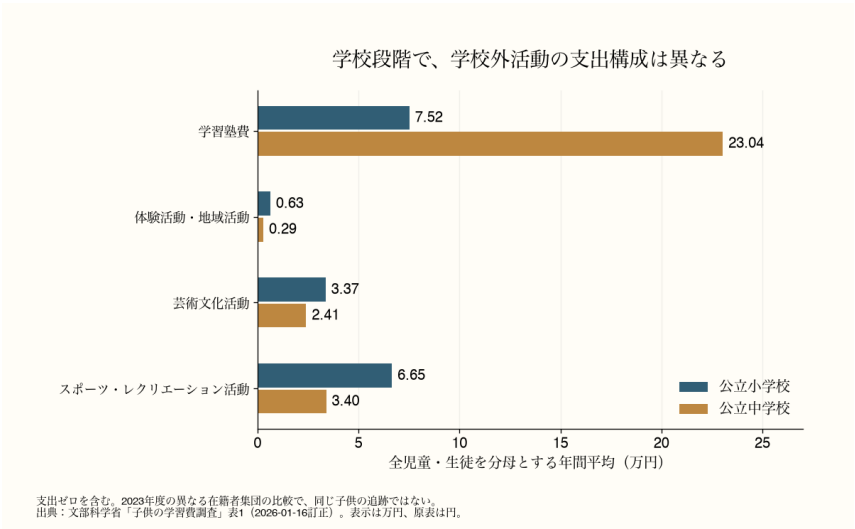


図 図1 活動別の全体平均。e-Stat表1の全国・公立平均。子供一人当たり年額、支出ゼロを含みます。図1・2は主要4費目に絞った比較で、学校外活動費すべての合計ではありません。付表・比較表・CSVは下位9費目を収録しています。

分かったこと

- 学習塾費の平均が高くても、支出率は低い。：公立小学校の学習塾費は全体平均7万5,194円・支出率39.0%。
- 芸術文化活動は、二つの平均の方向が異なる。：公立小学校・公立中学校の全体平均は3万3,708円・2万4,077円。
- 支出ゼロを、そのまま未利用者にしない。：測っているのは保護者の年間支出で、支出者平均は授業料の単価でもありません。

限界

- 対象は2023年度の公立小学校・公立中学校の全国集計です。
- 支出率は利用率・参加率ではなく、0円は不参加の証拠ではありません。
- 全国の復元推計値です。

次のデータ

対象地域と活動を決め、参加の有無、有料・無料、支出ゼロの理由、費用内訳、回数、継続月数を一緒に確かめます。

出典

e-Stat：1 学校種別の学習費 (2026年1月16日訂正版)／e-Stat：3 学年 (年齢) 別, 所在市町村の人口規模 (学科) 別の…／e-Stat：3 学年 (年齢) 別, 所在市町村の人口規模 (学科) 別の…